

合併がもたらす効果と課題

お父さんのレポート

参考 市町村合併支援要綱

2

メリットと考えられること

市町村を越えた活動が可能に

各市町村が整備した施設を、市町村の境界を越えて利用することができる
小中学校区の見直しができ、より近い学校に通うことが可能になる

住民のニーズに合ったまちづくりが可能に

ニーズの多様化に対応する施設整備のほかにも、各地域の個性を生かして、買い物ができる区域、工場を集めた区域、図書館やグラウンドなどを集めた文化センターの区域といったように、役割を分担し、バランスのよいまちづくりができるようになる

住民サービスが向上

大きい自治体ほど、高度で専門的な職員の配置ができ、きめ細やかなニーズに対応した住民サービスが期待できる（例えば介護保険の効率的な運営など）

行政の効率化に

合併した市町村間の仕事（管理する部門 人事、財政、企画など）をまとめる事で、人件費や事務費など、経常経費の節約になる

地域の活力強化

イメージアップで地域の活力が強化されるだけでなく、総合力も向上し難しい問題を乗り越える力が生まれる

デメリットとその対策

周辺部がさびれる恐れがある

対策 合併前に、住民と「合併後のまちづくり」をどう進めていくかを話し合った上で、周辺部のことにも配慮した「まちづくり計画」をつくるのが重要

住民の声が届きにくくなり、市民サービスが低下する恐れがある

対策 住民の声をきちんと反映できるような仕組みをつくっていくことが必要となる

新しい市役所ができると、遠くなって不便になる人も出てくるのでは？

対策 通常は、それまで使用してきた役場は新市役所の出張所、支所として使用されるため、今までと変わりなく窓口サービスを受けることができる

市町村でサービスの水準に格差がある

対策 一般的に、サービスは高い方に、負担は低い方に調整されることが多いが、合併の前に市町村間で話し合いが必要

なぜ市町村合併が話題となっているのか？

お父さんのレポート

参考 市町村合併支援要綱

1

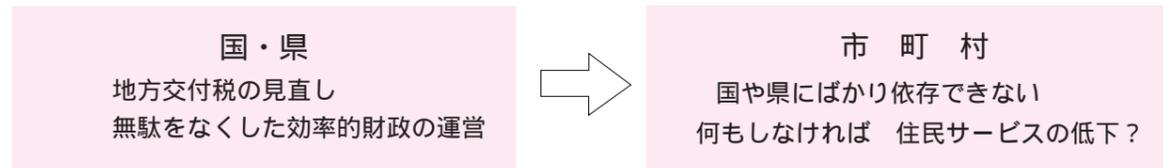
市町村合併は社会が抱えている問題を解決する方法の一つとして考えられている



問題

将来の財政運営が深刻な問題になっている

平成13年度末の国と地方の債務合計が、666兆円に上る中、少子高齢化によって労働力が低下し(税金などの収入減) 福祉サービスの充実(支出増) が求められる 厳しい財政運営



問題

一つの市や町村では対応が難しい問題が増加

市民ニーズの多様化で、福祉・医療・環境問題などの対応が求められている

問題

生活圏が近隣の市町村まで広がっている

道路と車社会、情報手段の発達で、日常の生活圏が、近隣の市町村まで広がり、市町村の枠を越えた住民サービスが必要になってきている

問題

地方分権による自治体の能力向上が求められている

今まで国や県で決められていた政策の一部が、市町村で判断するように求められている(地方分権) ために、専門的で高度な能力を持っている人材が必要になってくる



自治体の能力向上が求められている

これらの問題を解決する方法の一つが **「市町村合併」**なのだ

市町村合併の効果とは？

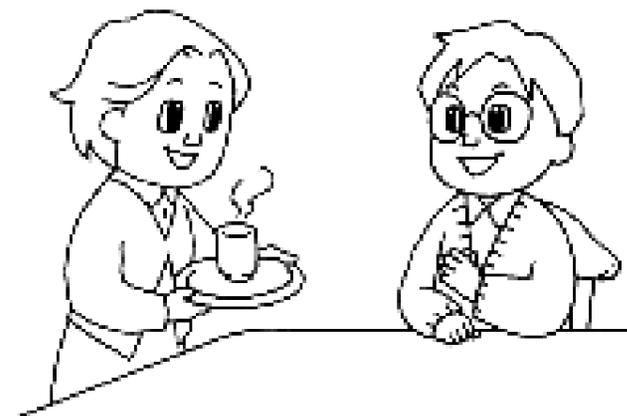
レポートを見てもらえん。実際に合併しないと分からないこともあるけれど、市町村が合併する効果はここにもとめたようなことが言われているんだよ。

メリットが先行しているイメージだね。だけど、このデメリットにも書いてあるとおり、中心地はいとしても、周辺部がさびれていくという心配は、確かにあるわね。

そうならないように、住民のみんなの声が反映される、新しい仕組みづくりが、今後のまちづくりには必要とされてくるんじゃないかな。

それじゃあ、もし、美濃加茂市が合併するとしたら、どの市町村と合併することになるのかな？

残念ながら、そこまで具体的にすることは決まっていらないんだ。しかし、可茂地域の2市2郡では、「可茂地域市町村合併研究会」という組織をつくって、市町村合併問題に関する調査・研究を進めているんだよ。それをまとめたレポートのを見てもらえん。(次のページ)



市町村合併は、いろいろなことが期待されているのね。だけど、いろんな市や町が一緒になって人が増えたり、地域が広くなっても問題の解決になるとは思えないわ。

じゃあ、合併にはどんな効果があるのを見ていこう。(次のページへ)